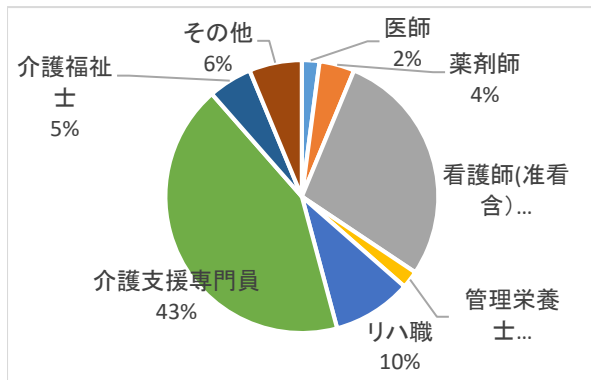


在宅医療介護従事者研修会 アンケート集計

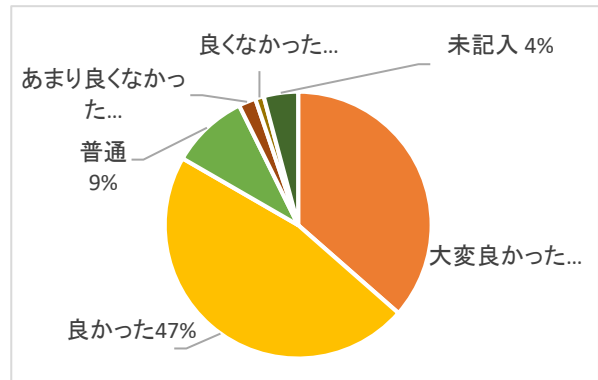
2019年4月25日(木) 19時～21時
小倉医師会介護サービス総合センター

参加者127名(講師含) 回収96名 回収率76%

1.記入者の職種について



2.「筋萎縮性側索硬化症の病態と諸症状への対応」について



3.研修会に対してのご意見

《介護支援専門員》

- ・内容が難しかったので、また資料を見直したいと思う
- ・内容が難しすぎて理解できなかった
- ・(自分の勉強不足もあり)専門用語も多く話の内容が難しかった(2)
- ・ALSについて、これまでに認識していなかった点(実際の患者の様子や状態)が具体的に理解できた
- ・詳しく説明していただき少し理解できた
- ・ALSについて、看護・介護の面からも研修を受けたい
- ・事例をもっと聞きたかった
- ・講師が高度な知識を持っているのは十分に分かったが、この研修を受けに来ている人が在宅医療・介護従事者と分かっての話なのかと疑問に思った。聞く側のことをあまり考えておらず、よそで使った資料(パワーポイント)を使って講義されているだけのように感じた
- ・ALSへの対応方法については難しいと思った。コミュニケーション方法や生活の質を維持するためにはどのようにすればよいかを知りたかった。

《薬剤師》

- ・希少疾病の実際の症例への対応など勉強になった

《管理栄養士》

症例がありわかりやすかった

《リハビリ職》

- ・神経難病に対する勉強会は他疾患に比べ少ないため、とても貴重な講演でした。
- ・訪問時の関わる視点を押さえることができ、明日の訪問からいかしていきたい(2)
- ・知りたかった情報が頂けたので満足している

《その他》

- ・本人の思いと家族の思い、心の準備もしっかりと配慮しないといけないと思った。そのためにも、ALSの理解を深めることができてよかった
- ・在宅を行うにも家族のかかわりが重要だと大変勉強になった(2)

《介護福祉士》

- ・少し言葉が難しかった
- ・難しい内容だったが、拝聴できてよかった

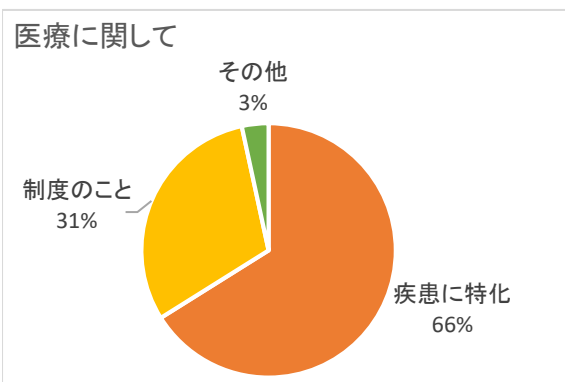
《看護師》

- ・専門分野の知識を深めることができた。今までALSの方と関わってきたことはあったが、エビデンスに基づいて治療介入していたのか疑問に思うところがあった。もっと、知識を深めて介入していく必要があると思った。緩和ケアなどは研修の機会が多いが神経難病系は少ないため勉強になった
- ・病態や治療についてしっかりと聞いたことがなかったので良かった(2)
- ・ALSの療養者に関わっているのので、大変参考になった。
- ・全体的にとっても分かりやすかった。また、事例・症例も話してくださり更にわかりやすかった(3)

・胃ろう導入に早期導入が大切ということを感じた。在宅であると本人が食べたがるということでどうにかして食事を続けていく方向になりやすく、専門的な医師でなければ呼吸困難が出るまで次の治療の説明も無かったりした

- ・わかりやすい話でした(3)
- ・来院(初診)時の体重5%が少しわかりにくかったが、何となく理解できているが。
- ・大変勉強になった

4.今後の研修テーマについて

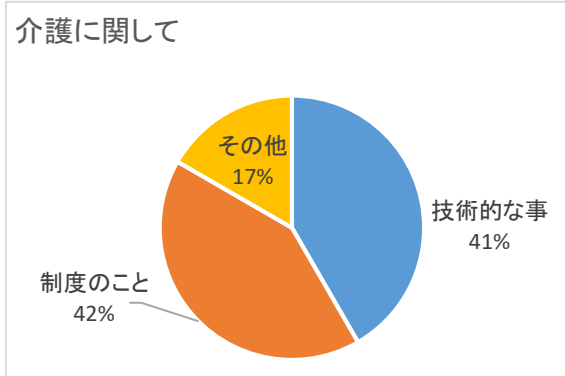


疾患

- ・高齢者医療
- ・膠原病
- ・パーキンソン病(4)
- ・難病(4)
- ・呼吸器疾患
- ・褥瘡治療(2)
- ・がん
- ・皮膚疾患
- ・精神疾患患者への関わり方(2)
- ・アルコール依存と認知症
- ・糖尿病の合併症、理解のない家族への説明方法
- ・筋ジストフィー・重症筋無力症
- ・腰痛を伴う疾患

制度

- ・リハビリ関連
- ・ALS患者のコミュニケーション機器の手続きの段階
- ・難病患者の制度
- ・各施設の基準
- ・社会制度



技術的な事

- ・在宅ケアでの留意点、精神的ケア
- ・褥瘡予防
- ・服薬指導

制度のこと

- ・障害者サービスについて(利用手順等)(2)
- ・各施設の利用基準等
- ・医療と福祉の関係(2)
- ・サービス内容
- ・障害での上乗せサービス
- ・ADLを障害されていく方をサポートしてくれる制度等について

その他

- ・施設での看取りの症例
- ・インフォーマルサービス
- ・家族が関わる介護の方法
- ・個々の状態にあった制度・サービスを知りたい(2)
- ・いろいろな疾患の症例
- ・今回のように病態・諸症状への対応を聞いてみたい

5.「病院窓口ガイド」について

